

## 令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果について

### 1. 外部評価の目的

---

市で実施した内部評価の妥当性を、専門的な見地や市民の目線から検証することで、客観性を確保するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しや次年度の取組み内容への反映を行う。

### 2. 評価対象及び実施方法

---

令和2年度に実施した地方創生推進交付金事業「「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業」について、市で実施した内部評価に対し、河内長野市行財政評価委員会が書面にて評価を行った。

### 3. 評価方法

---

市内部で行った評価資料に基づき、事業の目標及び数値目標(KPI)を達成するために評価年度に実施した要素事業が効果的であったかとの観点で検証を行い、「**妥当**」、「**概ね妥当**」、「**要検討**」のいずれかに分類する。

### 4. 評価結果

---

別紙「令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果」のとおり

## 令和2年度地方創生推進交付金事業評価・外部評価結果

### ■事業の概要

事業名称	「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業
要素事業	「丘の生活拠点」(南花台)まちづくりモデル事業
事業の目標	<p>人口減少・少子高齢化が急激に進む開発団地が連なる市南部の南花台を「丘の生活拠点」に位置付け、「地域住民が住み慣れた場所で多世代と交流しながら、生きがいを持ち、元気に暮らし続けることができるまちづくり」をコンセプトに『咲く南花台プロジェクト』を推進している。</p> <p>地域活動拠点「コノミヤテラス」を中心に、買物応援や生活応援をはじめ、健康づくり、子育て支援、情報発信、南花台事業者の会の立ち上げなど、地域住民主体による地域課題解決につながる取組みを通じて、現在では多くの地域住民が多様な形でまちづくりに参画し、関西大学に加え他大学の参画も進んでいる。地域のスーパーコノミヤとの連携も年を追うごとに深まり、公民学による信頼関係の高まりにより地域の合意形成が図りやすくなるとともに、まちづくりの機運が非常に高まっている。</p> <p>「咲く南花台プロジェクト」をさらに推進し、自動運転による移動サービスを始め、新たな技術の導入による生活利便性の向上を図りながら、地域の公園やUR団地集約用地等の既存ストックを有効活用し、地域の魅力創出・活性化を図り、「暮らし続けられるまち」を形成しながら、高齢化に伴い自治会や地区福祉委員会など地域活動の担い手不足が課題となっているなかで、新たな担い手を発掘し、地域住民と事業者が連携した持続可能なまちづくりのモデルを構築する。</p>
全体の概要	<p>地域活動拠点「コノミヤテラス」を中心とした社会実験的活動の企画・実施及び活動の一環として、自動運転等未来技術を活用した地域の生活に機能する移動支援の構築を図る。また、UR集約型団地再生事業に係る多世代が交流できる公園(サッカースタジアムを含む)を整備することにより、地域住民の憩いの場や子どもの遊び場の創出、スポーツを通じた魅力あるまちづくりのモデルを構築する。あわせて、これらの事業について他の地域へ横展開を図り、河内長野市全体の地域活性化を生活利便性の向上につなげる。</p>
令和2年度実施事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案事業総合企画調整</li> <li>・「総合研究会」など各プロジェクト会議の運営</li> <li>・地域活動拠点「コノミヤテラス」の運営及び自立化の推進</li> <li>・南花台モビリティ「クルクル」の取り組み推進</li> <li>・「咲く南花台プロジェクト横展開」としてイズミヤ河内長野店における地域活動拠点整備の実施</li> <li>・南花台モビリティ「クルクル」自動運転実証事業運行体制整備(ルート選定、電磁誘導線の敷設等)</li> <li>・UR集約事業の推進(UR団地集約跡地における公園基本計画策定を含む)</li> <li>・「コノテラ通信」発行など地域による情報発信</li> </ul>

### ■市評価結果

評価区分(※1)	評価内容
①非常に効果的であった	<p>令和元年度に開始した「南花台モビリティ クルクル」について、年度当初はコロナ禍で休止したが、その間も運営スタッフと協議を進め、感染症対策を徹底した上で、10月より運行を再開し、移動支援としての効果を発揮できた。</p> <p>また、府スマートシティ戦略構想の代表モデルとして、自動運転の実証事業にかかるルート選定や電磁誘導線の敷設など、運営体制の構築を実施した。</p> <p>さらに、これまでの取り組みの広がりを受けて、スーパーシティ構想への申請も実施し、他自治体やNPO団体等からの視察も増加している。</p> <p>一方で、UR集約跡地において、公園整備を検討する中、アンケートを実施し基本計画を策定するなど、地域内の合意形成を図っている。</p>

※1：評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があった」、「④効果がなかった」

### ■委員会評価

評価区分(※2)	意見・コメント
妥当	<p>○南花台の事業がモデルとして他のコミュニティに波及していくようにする為、分析、評価、一般施策へつなぐ提案が、次には求められる。</p> <p>○基本的には、活発な活動が行われ、また、メディア等を見る限り、一定の注目を集め、順調な進捗を見せている。ただし、以下のような懸念がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横展開」とあるが、南花台の事業から得られた教訓は何で、それらをどう活かして他地域における取組を行なっているのか、説明する記載がない。また、「横展開」で挙げられている取組リストを見ても、どのような基本コンセプトでこれらの事業が考え出されたのか、にわかには分からなかった。</li> <li>・公園整備は、建築家によるランドスケープデザインから住民参加にもとづくパークマネジメントへと思考方法が転換しているが、当該公園の整備プロセスにおける住民参加のための取組概要やその特徴について、貴市として一定の認識を持ったうえで、それを説明・記載し、そのうえで自己・第三者評価をするとよいのではないだろうか。</li> </ul>
評価内訳	
①妥当 3	
②概ね妥当 2	
③要検討 0	<p>○スマートシティ構想は、解るが大きなPRのわりに、クルクルが市民生活に活用されていないように思える。今後の活用方法に期待したい。</p>

※2：取組事業が事業の目標・KPI達成するために、「①妥当である」、「②概ね妥当である」、「③検討を要する」